

わたしとGWT 手塚美恵子 さん

初めてのGWTとの出会いは、平成22年11月の初級講座受講。当時の思い、「GWTは、どうしてこんなに自分の気持ちや他者の気持ちがわかる手法なのだろう?」「受講後の充実感がとても心地よいのは、どうしてだろう?」不思議な思いが印象的でした。1年後にも三好先生の研修に参加させていただくチャンスに恵まれました。この頃は、会議の中で気分転換や気づきを求めるためにGWTを活用していました。平成28年、再び初級アドバイザー養成講習を受講しました。

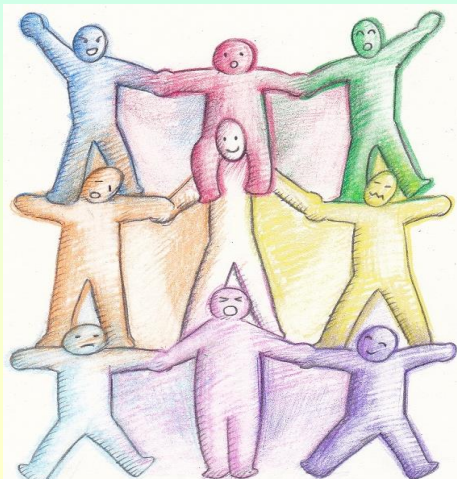


この頃職場では、新入職員研修で、がっつりとGWT実践三味のプログラムを活用していました。3日間の新入職員研修のうち300分をGWTに充て、受講者は、実施研修医から看護師、事務、車両係…多種多様な職種。経験も0～数十年の新入職員50名ほどを「困ったときに相談できる仲間(同期)になるう!」を目標にGWTづくし。参加者からの感想に、私自身が大満足!新入職員からの感想がたまらなくうれしくて、またまたGWTに魅了されてしまいました。

最後に、これからの私とGWTについてですが、この夏の人事異動で、介護職員の職業訓練受託事業や介護職員の資格取得の学校コープケアカレッジへ異動になりました。原稿を書いている今日もたっぷりGWTでコミュニケーションワークの授業を担当しました。研修生が、ふりかえりをする中で、自分に向かい合い、自分のことを語るようになっていきます。そして、私との距離も近づいていくことを感じ、半年の間で自信を持って修了してほしいと思っています。私自身、GWTの凄さに感動して、自己成長していることを感じます。これからも、たくさんの人に気づきを与えられるよう、研鑽を積んでいきます。

島根の地で、 GWT初級アドバイザーの 資格を取得しよう! お友だちにご紹介ください。

- 日時 12月14日(土)、15日(日)
- 場所 島根県出雲市内
- ・問い合わせ 木村真介(島根支部代表)
携帯電話 090-2801-0615



<緊急募集>

2021年開催予定「第30回日本GWT全国研修交流会」開催に当たり、記念すべき会の企画運営を御一緒にして下さる方を募集します。

キックオフミーティングを2019年12月7日(土)「GWTづくしの特別1日セミナー」終了後、18時より市川サンシティ付近で開催予定。御興味のある方はお集まりください。

<連絡先:三好 090-1801-1814
miyoenjoy@jcom.zaq.ne.jp まで>

～年会費納入のお願い～

当協会は、会員皆様方一人ひとりの会費収入が貴重な協会運営の財源です。つきましては、年会費4,000円の納入をお願いいたします。

振り込がお済でない方、速やかにお願ひします。同封の案内に従って振込みをお願いいたします。

●ゆうちょ銀行振り込む場合の口座

ゆうちょ銀行 00750-9-68684

*ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へ振り込んでいただくと手数料がお得です。

●他金融機関から振り込む場合の口座

当座 〇七九店 0068684



緑豊かな中で開催した“夏の学習会” ————— レポート 鯖戸

恒例となっている私たち協会主催の“夏の学習会”が、7月21日に長野県小諸市内の安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センターで開催されました。ここは浅間山を遠望できる緑に囲まれた丘陵地帯。そして道路を隔てるとすぐ下に温泉があるおしゃれな宿泊施設。それだけで心が洗われ、モチベーションが上がります。当日は25名の参加者があり、常連者も初めての方も交え、楽しく学習会が進行しました。

プログラムは、チェックイン、お手玉を使ったアイスブレイキング、全国レクのセッションで提供する財の検討、GWTの財開発の壁を下げるために参考となるレクリエーションゲームを体験しました。そして最後はチェックアウトで今の気持ちを確認し合って締めくくりとなりました。

愛知から参加された山本リエさんの感想を紹介します。

「初めて、長野の学習会に参加させていただきました。私はコンセンサスを主体としたGWTが大好きで、職場でも「利用者さんを知る」ために使わせていただいています。私の職場の利用者さんは精神障害から対人関係が築きにくい人達で、その人たちの意見をまとめることが至難の技でした。今回、三好先生とご一緒させていただいて、何を優先に考えるのかを導き出すことで、今まで暗闇だった私の思いが晴れた気分になりました。一緒に参加してくださった全ての皆様、私も皆さんのようになれるよう精進していきたいと思います。」



信州に令和の幕を開けた北の星 ～ながの支部学習会～ レポート 犬飼

平成最後の日曜となった4月28日、梓川の畔、松林に囲まれた梓水苑の会場で「GWTながの支部学習会」を開催しました。GWTは初めてという参加者11名を迎え、馴染みの会員と共に総勢23名で学び合いました。プログラムのスタートは、中学校でGWTを実践しクラス経営をされてきた会員による「カサケンフィギュアーズ応用編」。これに続いて、午後に2つの財発表が展開されました。

会員のアドバイザー体験チャレンジの場でもある学習会では、初参加でGWTは未体験という受講者に向け、GWTの手法を正しく伝えるための配慮が必要です。実施した三つの財発表に投げられた疑問・質問を、北海道から駆けつけてくれた二階堂理事が座長となってファシリテートして下さいました。「全国各地にGWTアドバイザー在り！」と、その存在を示していただきました。

今、新たな元号、令和元年を迎え、『関係力』磨きは学校現場に必要な学びです」と関心を寄せて参加された養護教諭の皆さんを巻き込み、継続して学び合い深め合っていきたいと思った学習会となりました。

5月25日 令和元年第1弾の研修“GWTづくりの特別セミナー”開催

トランプ大統領来日の厳戒令を潜り抜けて集まった全国の有志達。千葉3名、北海道2名と滋賀より各2名、岩手・新潟・茨城からは1名の参加で開催することができました。今回のGWT研修の目的は「気づきを磨く」～サブテーマ：令和維新～とし、アートセラピーGWTを通して「集団の中の自分の姿」を浮き彫りにしていくワークからスタートしました。平成から令和への時代背景を探求したり、新財開発の財作りを少しでも手がけたりして、身近にあるツールで気づきを膨らませました。今後も時代に合わせて斬新な財創案を誘発させるきっかけをつくりたいものです。

また、これまでGWTの対象者になりにくかった幼稚園でGWTを導入している先生からのリクエストがあり、実践に向けて全員でアイデアを出し合いました。

チェックアウトがわりに「GWTカルタ」で1日の振り返りをした上で、最後は令和維新に向けて、学んだ事や気づいた事を日常化&一般化して明日への行動計画をしたためました。レポート 三好



GWTづくりの特別1日セミナーin 鹿児島開催

GWTかごしま会主催で開催したこのセミナーには県内外から14名の参加がありました。GWT後発県の鹿児島県で、広くGWTを知ってもらおうと、日本GWT協会のご後援、全面協力をいただき、三好理事長を鹿児島にお迎えすることができ、夢のような1日でした。

プチャッピーで皆さんの幸せを分け合って緊張がほぐれたところで、天気にとえると？と、内面と向き合いました。それぞれの天候の捉え方の違いや視点の違いにハッと気づき合い、今の時代(VUCA)を生きる上で、GWTのような体験学習が大切なことを講義いただきました。

午後、現代人シンドローム講義をはじめ、5つの財を体験学習し、文字通りGWTづくりの1日でした。参加者のどなたも素敵な表情でチェックアウトし、私たちGWTかごしま会も、更なる研鑽を誓うのであります。レポート 村山



全国レク大会は、GWT紹介の大事な機会

今年の全国レクリエーション大会は宮城県で9月13～15日に開催。今回は、私鯖戸が担当。日本レクリエーション協会が、レクリエーションは“心の元気づくり”と定義していることもあって、そのためには、それぞれの人となりを受け入れ理解していくことが大事あるだろうと考えてワークを創作しました。日本の原風景を書く原田泰治画伯に複製画使用の許可を得て、その名画を観ながら、思い浮かんだ自分の気持ちを語り合うワークをしました。

「それぞれの世代の考えの違いが分かり、有意義であった。自分自身、考えのバリエーションを増やしていきたいと感じた」、「話すことで相手を知ることができました」、「GWTでプラスの気づきができよかったです」などの感想をいただきました。

来年の全国レク兵庫大会(2020年11月13日～15日)でお会いしましょう。レポート 鯖戸



上級アドバイザーになった渡邊有利枝さんを紹介



子どもの心の成長にとって「体験」がいかに大切かを実感したエピソードを紹介します。

「最後まで頑張ることができました。みんなの声援のおかげです」、「みんながバラバラになったときはどうなるか心配だったけど、〇〇さんの一声で一つにまとまることができ、最高の体育大会でした」、体育大会直後の振り返り。学びや気づきを自分の言葉で全員が語りました。いつもはもじもじしている生徒でもこのときは饒舌でした。途中で感極まって泣きながら語る生徒もいました。学級活動の時間に時々GWTで「楽習」していた生徒たち。このように学校行事の体験（プロセス）から学んだことで、学級の集団力が飛躍的に高まりました。そればかりか、個人の日常の態度も変わったのです。それまでは授業中は伏せて寝ていた生徒が、体育大会後は「これどうやってやるの」と友達に聞いて、問題を解いていたのです。仲間とのつながりが一人一人の心を温めたのでしょう。この姿は忘れられません。

現在の勤務校では、担任の先生方に、「体験の振り返り」と「体験での学びをいかに日常化するか」が大切であることについて機会を捉えてお話ししています。その際に役立っているのが、これまでのGWTでの自分の学びと三好先生のティーチャーズコメントです。

どこかの教室でGWTをしたいなあ。教員の仲間にもGWTのよさを実感してもらおう場をつくりたいなあと思っています。AIにはない豊かな心をもつ子どもたちを育むために。

支部からのたより



福井支部

レポート 大久保郁子

第29回日本GWT協会全国交流会を、令和2年1月12～13日に福井で開催するにあたり、福井支部では数名の実行委員が準備を進めております。今回の会場の特徴は、宿泊、食事、学びが予定会場内で全て行うことができ、更に、温泉をはじめ癒しの空間を感じながら会員の交流を楽しんでいただけることです。

その前哨戦として、世の中が“G20サミット in 大阪”で湧き上がっていた同日に、福井支部でも新旧入り混じった“G15サミット in 福井”を交流会予定会場で行いました。

三好良子理事長・二階堂洋子理事のお二人が全国交流会準備状況等の打ち合わせに来福された機会を見逃すことなく、交流会予定会場で講座が実現しました。

私たちの周りに潜む様々なハラスメントや子育て虐待等に焦点を当て、当支部会員の希望により「**怒りの感情と上手く付き合う アンガーマネジメント研修**」のGWT講座をお願いし、様々な立場の方々に参加しました。

講座では“怒り”の度合いを点数で表すことで参加者の様々な“怒り”の度合いを知ることができ、同時に自分の中にも同様な“怒り”が潜んでいることに気がきました。視点を変えて自分の“怒り”を見ると、さほど大きな“怒り”でもないことにも大きな驚きでした。日常生活の中では“怒り”から逃れるため深い呼吸をすることで、“怒り”を静めることができることも一つの方法であることを知ることができました。

いろいろな思いを話し合うことでお互いの気持ちを受け入れていく“GWT”に、今回の参加者が一人でも多く興味関心を持っていただき、来年の福井での交流会の成功につながればと思っています。

さあ、皆さん！福井でお会いしましょう！！

